## 地域の絆(きずな)深め 50 回の節目

11/2　堀金一周駅伝大会

第 10 回堀金一周駅伝大会（堀金公民館主催）が 11 月 2 日、堀金支所を発着点に 10 区間 17.3㌔を一周するコースで開かれました。当日は、堀金地域の 9 つの区を全て回り、小学生から 40 代まで 90 人のランナーがタスキをつなぎました。大会は、本年で旧堀金村時代から通算して 50 回を数え、各区内の地域のつながりを強める行事として行われてきました。優勝したのは、上堀地区公民館チーム。今回、初出場でアンカーを務めた徳武瑠夏(とくたけるな)さん（堀金中 1 年）は「楽しく走ることができました。優勝してうれしいです」と話してくれました。

## 大人気 伝統野菜･牧大根

11/16　牧大根まつり

第 5 回牧大根まつりが 11 月 16 日、市内 3 会場で行われました。牧大根は、きめが細かく固く漬物に適した大根で、県の「信州の伝統野菜」に認定されています。会場の一つとなった牧地区公民館では、販売開始から 1 時間ほどで約 4,000 本が完売しました。牧区区長の小林直美さんは「祭りが区民や来場者との交流の場にもになっており、毎回励みになっています」と話してくれました。

## 地元に報告　J1での飛躍を誓う

11/25　松本山雅 FC ホームタウン J1 昇格報告会

市がホームタウンとなっているサッカー J2 松本山雅 FC（フットボールクラブ）の反町康治監督や選手など 40 人が 25 日、堀金公民館講堂を訪れ J1 昇格の報告会をしました。

この日は、クラブを応援する市民や市関係者約 200 人が集まり、クラブの皆さんを拍手で出迎えました。

報告会では反町監督や選手会長の喜山康平選手が、応援への感謝と来シーズンへの決意を述べたほか、クラブからは宮澤市長に選手らのサイン入りボールなどが手渡され、全員で記念撮影も行われました。

J2 昇格から応援をしているという大久保あさ子さん（三郷明盛）は「選手が庶民的で、私たちに気軽に接してくれます。上位リーグでの戦いに備え、しっかり鍛えて、ぜひ頑張ってほしい」と来季の活躍に期待を込めました。

## 安曇野の味覚を堪能

11/15・16　信州安曇野新そばと食の感謝祭

新そばをはじめ、安曇野の食文化を楽しむ「信州安曇野新そばと食の感謝祭」（実行委員会主催）が 11 月 15 日と 16 日の両日、穂高神社特設会場で開催されました。

会場では、地元そば店が出店した「新そばコーナー」をはじめ、安曇野産の豚肉や伝統野菜・牧大根などの食材を盛り込んだ特製の「おひさま丼」などの販売、市農業再生協議会による農産物を山積みにした豊穣宝船の奉納などが行われ、2 日間で約 4 万 1 千人の来場者でにぎわいました。

また、16 日には松本山雅 FC・プラスワンバサダー片山真人さんのトークショーも行われ、J1 昇格を記念して宮澤市長から安曇野産のリンゴが送られました。片山さんは「サポーターの皆さんの声援は選手に大きな力を与えてくれます。ぜひ競技場にも足を運び、迫力ある試合の様子を体感してください」と来場者に呼び掛けました。

## 次代まで親しまれる庁舎を願い

12/3　新本庁舎しゅん工記念植樹祭

新本庁舎しゅん工を控え、次代まで親しまれる庁舎を願って市内小中学生による記念植樹が 12 月 3 日、新本庁舎敷地内で行われました。この日は、各学校の代表 51 人がそれぞれの学校で選んだブナやクヌギ、キンモクセイなど 17 本の木を宮澤市長と一緒に植樹しました。6 学年全員一致でキンモクセイを選んだという明北小の山越星(あかり)さんは「毎年、花が咲くのが楽しみです」と話し、アラカシを植えた三郷中 3 年の溝邊幹太(みぞべかんた)くんは「大きくなる木と聞いています。木と共に自分も一緒に成長していきたい」と話してくれました。

## 土砂災害自主避難訓練

11/9　モデル地区の明科南陸郷区で自主避難訓練を実施

全国で土砂災害が多発していることを受け、集中豪雨等による土砂災害に備えた自主避難訓練（区と関係行政機関共催）が 11 月 9 日、明科南陸郷区で行われました。この日は、住民 120 人が参加。累計降雨量が 100㍉を超えたことを想定し、区長の指示のもと隣組などの情報伝達により、地区集会施設など事前に話し合って決めた安全な場所に迅速に避難しました。

この取り組みは、市が山際に位置する同区をモデル地区として、地域住民が降雨状況から自主的に判断し、危険回避するもので、今後市内全域に推進します。